

授業科目 小児看護学概論

【担当教員名】 岩 田 みどり		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 本科目では、子どもの健康障害の特徴を学び、さまざまな場における子どもと家族の状況を判断し、小児看護学の基本的知識・技術・態度について修得する。学生は当日レポート方式(BRD)を用いて学習した内容を整理し、小児看護学の実践に必要な能力や子どもと家族のサポーターとしての能力について考察する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 子どもの健康障害の特徴を理解できる。 2. 子どもを取り巻く医療・看護の現状を説明できる。 3. 子どもの免疫の特徴を理解し、主な感染症や予防策について理解できる。 4. さまざまな場における小児看護の概要を説明できる。 5. 小児看護の特徴と看護職に求められる能力について考察できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 子どもの成長発達の特徴と子どもを取り巻く環境について説明する。			1	講義
2	2. 子どもの健康障害の特徴や小児医療・看護の現状を説明する。			2	講義
3	3. 子どもの免疫の特徴を理解し、主な感染症や予防策について説明できる。			3	講義
4	4. 入院中・外来・在宅などでの子どもと家族について理解し、看護について学ぶ。また、子どもへのプリパレーションを考える。			4	講義
5	4. 入院中・外来・在宅などでの子どもと家族について理解し、看護について学ぶ。また、子どもへのプリパレーションを考える。			4	講義
6	4. 入院中・外来・在宅などでの子どもと家族について理解し、看護について学ぶ。また、子どもへのプリパレーションを考える。			4	講義
7	5. 子どもへの健康教育について、発達段階に応じた小児看護の援助を考察する。			5	演習
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナーシンググラフィカ 小児看護学/小児の発達と看護		メディカ出版	3,600円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験50%＋個人課題レポート40%＋出席10%		【履修上の留意点】 学生は当日レポート方式(BRD)を用いて学習した内容を講義ごと整理し、3年後期の実習で活用できるようにする。			